

漂白剤を主成分にした洗浄剤による色の変化は、昔からある事故ですが、近年はウイルス感染対策として、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が推奨されることから、脱色などのトラブルが増えることが懸念されます。今回は、漂白剤を主成分にした洗浄剤による事故の典型例を紹介し、その対策を考えます。

## 衣類の状態

前スカート中央付近が、ベージュ色から黄色に脱色している。

原因が次亜塩素酸ナトリウムを主成分にした洗浄剤であることに脱色したもの。

原因が次亜塩素酸ナトリウムを主成分にした洗浄剤であることは、脱色部に残留している薬品を検出したり、主成分である次亜塩素酸ナトリウムを実際に付けて脱色を再現することで確認できる。

ただし、事故品が水洗いされている場合は、付着物が洗い流されてしまうために薬剤が検出できず、薬剤を検出できた場合でも、「いつ」「どこで」付着したのかを判断する方法はない。

また、高濃度の次亜塩素酸ナトリウムには、セルロース系纖維を脆化させる作用があることにも注意が必要。

## 漂白剤を主成分にした洗浄剤

漂白剤を主成分にした洗浄剤には、次亜塩素酸ナトリウムや過酸化水素を主成分にした液状のものと、過炭酸ナトリウムを主成分にした粉末状のものがあり、用途別に次のような各種商品が販売されている。

- ・洗たく用漂白剤
- ・台所用品用漂白剤
- ・洗たく機の洗たく槽洗浄剤
- ・台所、浴室、洗面所などの配水管洗浄剤
- ・カビ除去するための洗浄剤
- ・トイレ清浄用洗浄剤

## 洗浄剤の除去方法

なお、最近「除菌」や「ウイルス消毒」等を謳つて販売されている酸化塩素にも、漂白作用があることに注意したい。

## 事故の防止対策

洗浄剤を付着させないことが基本となるが、誰が、いつ洗浄剤を付着させたのかが問題となることから、クリーニングの工程での付



生地が重なる部分は、脱色範囲が小さくなっている



スカート

監修／クリーニング総合研究所

着用・保管  
取り扱いに注意

■品名	スカート
■素材	綿 74%、ポリエステル 26%
■取扱い表示	洗濯機洗濯可 (中) ドライヤー可 (セキユ系)
■処理方法	石油系ドライクリーニング、タンブル乾燥

●「衣料管理情報」は全ク連ホームページからPDFをダウンロードいただけます。  
全ク連HP <https://www.zenkuren.or.jp> 「お知らせ」→「衣料管理情報」